

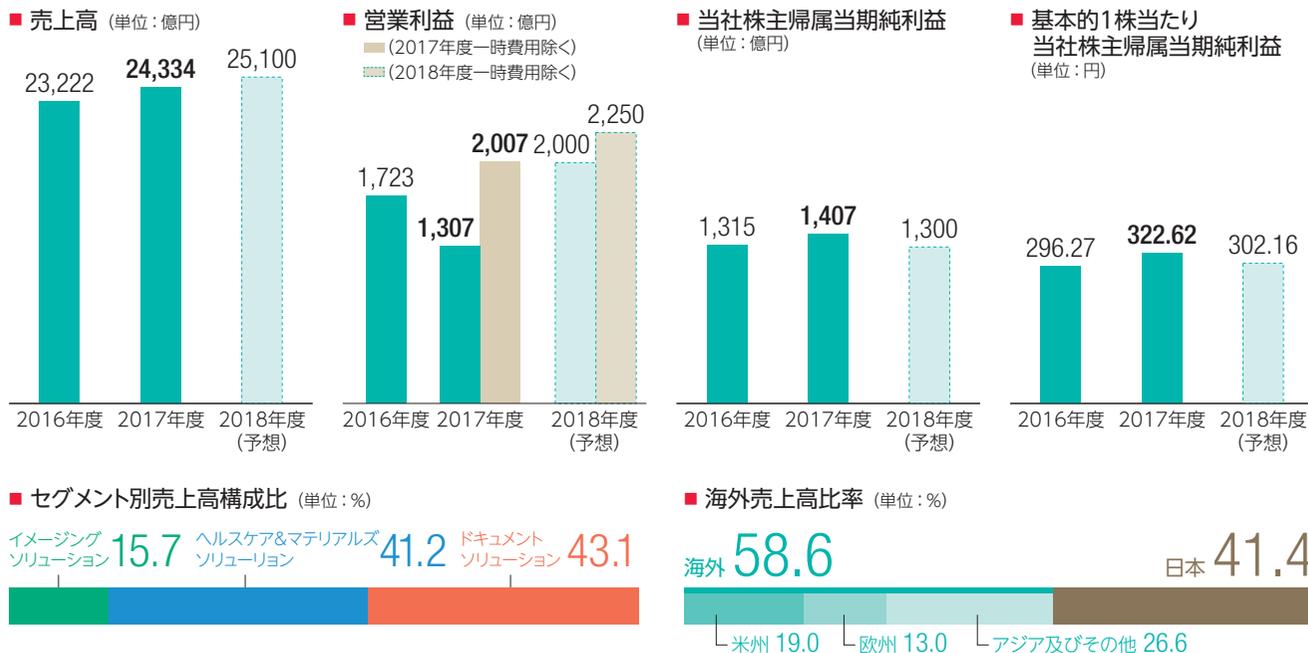
# FUJIFILM NEWS

Vol.98

## 2017年度 決算ハイライト

### 2017年度決算のポイント

売上高	電子映像事業、メディカルシステム事業、電子材料事業などで売上を伸ばし、2兆4,334億円（前年比4.8%増）
営業利益	ドキュメントソリューションで実施した構造改革などの一時費用が発生したことにより、1,307億円（前年比24.1%減） 一時費用を除いたオペレーションベースでは、2,007億円（前年比13.8%増）
税金等調整前当期純利益	有価証券売却益や和光純薬工業（現 富士フィルム和光純薬）の連結子会社化による株式評価益により、1,978億円（前年比1.6%増）
当社株主帰属当期純利益	過去最高となる1,407億円（前年比7.0%増）



詳細な財務情報は、当社ウェブサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

アドレスはこちら > <http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html>

# 株主の皆様へ

## 新たな成長のステージへ 中期経営計画「VISION2019」を加速

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2017年8月に当社グループの新しいCSR計画「FUJIFILM Sustainable Value Plan 2030」及び中期経営計画「VISION2019」を発表し、当社グループの目指す姿と業績目標を皆様にコミットしました。「VISION2019」の初年度である2017年度は、電子映像事業やメディカルシステム事業、電子材料事業などで売上を伸ばし、売上高は、前年比4.8%増の2兆4,334億円、営業利益は、ドキュメント事業における体質強化を目的とした構造改革費用などの一時費用700億円を除いたオペレーションベースでは、前年比13.8%増の2,007億円、当社株主帰属当期純利益は、1,407億円と過去最高益となり、順調なスタートを切ることができました。

「VISION2019」の2年目となる2018年度は、各事業のさらなる収益力の向上で安定的にキャッシュを創出するとともに、事業ポートフォリオをより強固なものとし、戦略的な飛躍を目指していきます。

特に成長が期待される再生医療事業では、「培地」のリーディングカンパニー「Irvine Scientific

Sales Company）「アイエスジャパン」を買収し、再生医療の重要な三要素である「細胞」「培地」「足場材」全てをグループ内で一体開発できる体制をさらに強化しました。再生医療は、有効な治療法がない疾患に治療の道を拓く画期的な医療として世界中から期待を寄せられており、当社が写真フィルムの開発・製造で培った微細な粒子をコントロールする技術（ナノテクノロジー）や、写真の主成分であるゼラチンの一種であり「足場材」として有用な「リコンビナントペプチド」などの技術が活かせる領域です。また、これまでもiPS細胞の開発・製造の世界的なリーディングカンパニーである「FUJIFILM Cellular Dynamics」や、日本での再生医療のパイオニアである「ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング」、培地の分野で高い開発力や幅広い販路を持つ「富士フィルム和光純薬」など、再生医療に重要な技術とノウハウを持つ会社の買収を進めることにより、必要な要素を補強してきました。今回の買収を機に、再生医療の研究開発をさらに加速するとともに、官・学との連携も強化することで、再生医療の産業化をリードし、事業を通じて社会の大きな課題の解決に貢献していきます。



代表取締役会長・CEO

代表取締役社長・COO

古森重隆 助野健児

また、ドキュメント事業は、日本及びアジア・オセアニア地域で獲得したトップポジションを維持しつつ、ソリューション・サービス分野の強化、中国をはじめとする成長市場の事業拡大を加速するとともに、2018年1月に発表したゼロックスコーポレーションと富士ゼロックスとの経営統合ならびに連結子会社化を目指しております。

IoT (Internet of Things) やAI (人工知能) などのデジタル技術を活用した新しいマーケティングやマニュファクチャリングなどが本格化する中、これらの動きを先読みして着実に準備、整備を進めております。今後、さらに決断力とスピード感を持って課題をやり抜くことで、全事業における収益性向上を万全の体制で取り組み、事業成長を加速していきます。

株主の皆様には、今後とも、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年6月

# 富士フィルムグループトピックス

## 培地のリーディングカンパニー

### 「Irvine Scientific Sales Company」「アイエスジャパン」を買収

培地のリーディングカンパニーであるIrvine Scientific Sales Company (以下 ISUS社) 及びアイエスジャパン (以下 ISJ社) の買収を行いました。培地は、細胞の生育・増殖のための栄養分を含んだ液状や粉末の物質で、バイオ医薬品や再生医療製品などの研究開発や製造における細胞培養に必要不可欠なものです。また、培地の品質によって細胞培養の品質や効率が左右されるといわれており、近年、培地に対する注目がますます高まっています。培地市場は、抗体医薬品を中心としたバイオ医薬品の需要増加、細胞を用いた治療ニーズの急拡大に伴い拡大しており、その市場規模は約1,300億円といわれ、今後も年率約10%の

伸長が見込まれています。当社は、本買収を通じて「培地事業の成長加速」ならびに「バイオCDMO\*、再生医療、試薬事業でのグループシナジーの最大化」を目指し、ヘルスケアビジネスの成長を加速していきます。

#### ■ 培地の世界総需



#### 買収の狙い1 培地事業の成長加速

- ① バイオ医薬品から体外受精・細胞治療の領域にわたる幅広い培地の製品ラインアップ実現
- ② 培地事業の海外展開強化
- ③ 各種細胞培養に適した競争力の高いカスタム培地の開発
- ④ 培地関連製品の販売強化

#### 買収の狙い2 バイオCDMO、再生医療、試薬事業でのグループシナジーの最大化

- ① バイオCDMO事業のさらなる拡大  
ISUS社・ISJ社の培地技術を活用することで生産効率を向上させ、高品質かつタイムリーなバイオ医薬品の提供を目指す
- ② 再生医療事業の研究開発の加速  
ISUS社・ISJ社の培地技術を取り入れることで、高品質な治療用細胞を効率的に作製し、自社再生医療製品の開発を加速
- ③ 試薬ビジネスのさらなる拡大  
富士フィルム和光純薬の試薬に、ISUS社・ISJ社の培地製品を加えることで、企業や研究機関のニーズにきめ細かく対応し、ビジネスを拡大

## TOPICS 1

## 武田薬品工業と

### iPS細胞由来心筋細胞を用いた再生医療製品の共同事業化に向けた取り組みを開始

当社と武田薬品工業(以下 武田薬品)は、2018年2月に当社の子会社であるFUJIFILM Cellular Dynamicsが開発を進めているiPS細胞由来心筋細胞を用いた再生医療製品において、全世界での共同事業化に関する優先交渉権を武田薬品に付与する契約を締結しました。今後、当社が保有する世界トップのiPS細胞関連技術や写真フィルムで培った高度なエンジニアリング技術と、武田薬品が持つiPS細胞に関する専門技術や医薬品の前臨床・臨床試験に関わる豊富な経験を組み合わせ、有効性・安全性に優れた画期的な再生医療製品の普及を目指していきます。

## TOPICS 2

## バイオ医薬品の

### 開発・製造受託事業をさらに拡大 米国テキサス拠点の新生産棟を2018年1月より稼働

2018年1月、バイオ医薬品のCDMO拠点の1つである米国テキサス拠点にて新生産棟の稼働を開始しました。今回稼働させた新生産棟は、顧客ニーズが高い多品種生産に適した2,000リットルの培養タンクを最大12基まで設置できるスペースを有し、今後のさらなる需要増にも迅速に対応が可能です。バイオ医薬品は、副作用が非常に少なく高い効能が期待できることから、市場は大きく伸長しています。当社は、積極的な設備投資や高効率・高生産性の技術開発など成長戦略を進め、CDMO事業で、2023年度に1,000億円の売上を目指します。



米国テキサス拠点の新生産棟

## TOPICS 3

\*CDMOとは Contract Development & Manufacturing Organization の略。生産プロセスの開発受託及び製造受託を行う組織を指す。

# セグメント別概況

※従来インフォメーションソリューションとして開示してきた事業分野を2018年3月期決算よりヘルスケア&マテリアルズソリューションに名称を変更いたしました。

## イメージングソリューション

### <事業>

フォトイメージング、電子映像・光学デバイス



[FUJIFILM X-H1] [Instax SQUARE SQ10]

■ 売上高 (単位: 億円)

**3,830億円**  
(前期比12.1%増)

■ 営業利益 (単位: 億円)

**560億円**  
(前期比52.0%増)



### ▶業績概要

- ・フォトイメージングでは、インスタントカメラ「チェキ」とチェキ用フィルムなどのインスタントフォトシステムの販売が欧米を中心に好調に推移。
- ・電子映像では、[FUJIFILM X-H1]や[FUJIFILM X-A5]などのXシリーズ、大型センサー搭載中判ミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM GFX 50S」や交換レンズの販売が好調で大幅増収。

### ▶今後の取り組み

- ・フォトイメージングは、インスタントフォトシステムを欧米に加えて新興国市場でも拡販し、収益を拡大。
- ・光学・電子映像は、成長領域であるミラーレスデジタルカメラのハイエンド機や、4Kや8Kに対応した放送用レンズなどの高付加価値製品に注力し収益性を向上。

## ヘルスケア&マテリアルズソリューション

### <事業(ヘルスケア)>

医薬品・バイオCDMO、再生医療、メディカルシステム、ライフサイエンス

医用画像  
情報システム  
[SYNAPSE]



### <事業(高性能材料等)>

ディスプレイ材料、産業機材、電子材料、ファインケミカル、記録メディア、グラフィックシステム・インクジェット

■ 売上高 (単位: 億円)

**1兆26億円**  
(前期比11.5%増)

■ 営業利益 (単位: 億円)

**928億円**  
(前期比11.8%増)



### ▶業績概要

- ・メディカルシステムは、体外診断 (IVD) や医療ITなどをはじめ、全ての分野で販売が好調に推移。
- ・バイオCDMOは、バイオ医薬品のプロセス開発・製造受託が好調に推移。
- ・電子材料は、フォトレジストやフォトリソ周辺材料の先端製品を中心に販売が好調に推移し、売上が増加。

### ▶今後の取り組み

- ・メディカルシステムは、X線画像診断機器、医療IT、内視鏡、超音波、体外診断 (IVD) など全ての分野で売上を拡大。
- ・バイオCDMOは、開発・生産体制をさらに強化し、収益力強化で成長を加速。
- ・電子材料は、先端フォトリソ周辺材料に加えて、新規製品のラインアップを拡充し、事業を拡大。

## ドキュメントソリューション

### <事業>

オフィスプロダクト&プリンター、プロダクションサービス、ソリューション&サービス



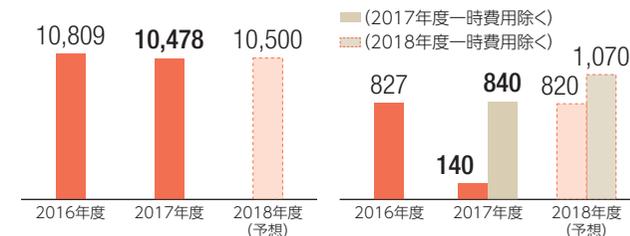
[Iridesse™ Production Press]

■ 売上高 (単位: 億円)

**1兆478億円**  
(前期比3.1%減)

■ 営業利益 (単位: 億円)

**140億円**  
(前期比83.1%減)



### ▶業績概要

- ・オフィスプロダクトは、中国や欧米向け輸出で販売が好調に推移。
- ・プリンターは、低採算のプリンタービジネスの縮小などにより販売台数が減少。
- ・ソリューション&サービスは、業種・業務別ソリューションの販売ならびに既存のBPO (Business Process Outsourcing) 契約に対する売上が堅調に推移。

### ▶今後の取り組み

- ・新たな価値提供戦略である「Smart Work Innovation」のもと、独自のAI (人工知能) 技術などを活用したソリューション・サービスの提供により事業を拡大。
- ・RPA (ロボティックプロセスオートメーション) を活用した業務の効率化に加え、構造改革の各施策を推進し収益性を改善。

# 新製品NEWS

## Imaging Solutions

### ミラーレスデジタルカメラ 「FUJIFILM X-H1」新発売

独自の色再現技術で卓越した写真画質を可能にする「Xシリーズ」のフラッグシップモデルです。新開発の高剛性・高耐久ボディ、究極の高画質、快適な操作性を実現し、シリーズ史上最高のパフォーマンスを発揮します。



## Document Solutions

### 最大6種類の異なる用紙を セット可能なA4カラープリンター 「DocuPrint CP500d」新発売

薬袋や耐水紙など特定用紙へのプリントにも対応。毎分43枚\*の高速出力とコンパクトボディの実現により、調剤/店舗/窓口業務の効率化や生産性向上を支援します。



\*A4同一原稿片面プリント時。

## Healthcare & Material Solutions

### デジタルX線画像診断装置「FUJIFILM DR CALNEO Dual(カルネオ デュアル)」新開発

骨粗しょう症診断に必要な高精細な一般X線画像と骨密度測定用の骨強調画像を、一度に撮影することが可能。撮影時間の短縮、被検者の負荷軽減、診察効率の向上に貢献します。



①②の特性の異なる2種類のX線検出部を積層

### 新感覚のみずみずしいつけ心地 「アスタリフト BB クリーム」新発売

エイジングケア\*1を目的とした「ASTALIFT(アスタリフト)」のベースメイクシリーズに、スキンケア効果を重視した新ラインアップを追加。塗り伸ばす瞬間に、美容成分が溢れ出すような新感覚のみずみずしいつけ心地を実現。ハリとうるおいを与えて、透明感\*2のあるつややかな肌へ仕上げます。



\*1年齢に応じた化粧品などによるケアのこと。  
\*2メイクアップ効果による。

### カラーメイクシリーズ「ASTALIFT flarosso (アスタリフト フラロッソ)」新発売

写真フィルムで長年培ってきた写真の発色技術や被写体に立体感を与える技術に着想を得て開発したカラーメイクシリーズ。透明感がある鮮やかな発色と、顔のパーツの立体感を際立たせ、写真に映える「フォトジェニックビューティー」を実現します。



## 医療ITで診断の質の向上・効率化に貢献する

当社は、中期経営計画「VISION2019」において、ヘルスケア領域を成長領域と位置付け、重点的に経営資源を投入し、事業成長を加速させています。

このシリーズでは、当社のヘルスケア領域の取り組みを具体的に紹介していきます。

第1回は、メディカルシステム事業の中から、X線画像、内視鏡画像、超音波画像など病院内に分散し、保存されている画像情報を一元管理することで診断の質の向上と効率化を実現する「医療IT」をご紹介します。



### 医療現場が抱える課題

診断に必要な画像など  
さまざまな情報の  
検索・管理に時間を  
要すること

医師は、CTやMRI、内視鏡検査などで撮影した診断画像や手術時に撮影した動画などさまざまな診療科で管理されている診療情報を参照し、総合的に診断を行います。

しかし、多くの病院では、これらの診療情報を診療科ごとに異なるシステムで管理していたり、紙やフィルムなどさまざまな形態で保管しています。そのため、管理が複雑で大量のデータから必要なデータを検索するのに時間を要することが課題でした。

### 医療現場の課題を解決する「医療IT」

病院内の診療情報を一元的に管理・保管し、一覧できるシステムの構築

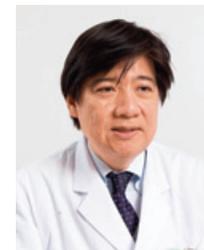
当社の医療IT事業では、医師が手元のコンピュータ端末で診断に必要な診療情報の参照を可能にするシステム「SYNAPSE」シリーズを提供しています。「SYNAPSE VNA」は、診療科ごとに異なるシステムで保管されている情報を一元的に管理・保管できるシステムで、診療に必要な全ての情報を集約し、一覧することができます。これによって医師が診療情報を

参照する際の負担を減らすことができ、総合的な診断の迅速化・正確化をサポートします。さらに、複数の病院がそれぞれ所有している診療情報を一元的に管理することもできるため、地域医療連携の診療情報の基盤としての活用も期待されます。当社は「SYNAPSE VNA」の積極的な導入によって、効率的で質の高い医療サービスの実現に貢献していきます。

導入事例

#### 大阪大学医学部附属病院様は2016年に 医用画像管理システムとしてSYNAPSE VNAを導入

「電子カルテの更新に際して、従来は複数箇所に分散していた画像管理システムを一元化しSYNAPSE VNAに統合しました。これにより350テラバイトを超える莫大な画像データの継続性が担保され、将来にわたる柔軟な利活用が可能となりました。」



大阪大学 大学院  
医学系研究科  
医療情報学 教授  
医学部附属病院医療情報部  
部長  
松村泰志 様

## 富士フィルムグループの医療ITにおける特長

当社の医用画像情報システム「SYNAPSE」シリーズは、医療現場における診療の質の向上につながる事が認められて急速に普及し、現在、市場シェアは、国内で1位、世界で2位を堅持しています。また、統合アーカイブシステム「SYNAPSE VNA」や3D画像解析システム「SYNAPSE VINCENT」などのラインアップで、医療現場の多様な課題の解決に貢献しています。

### SYNAPSE 医用画像情報システム

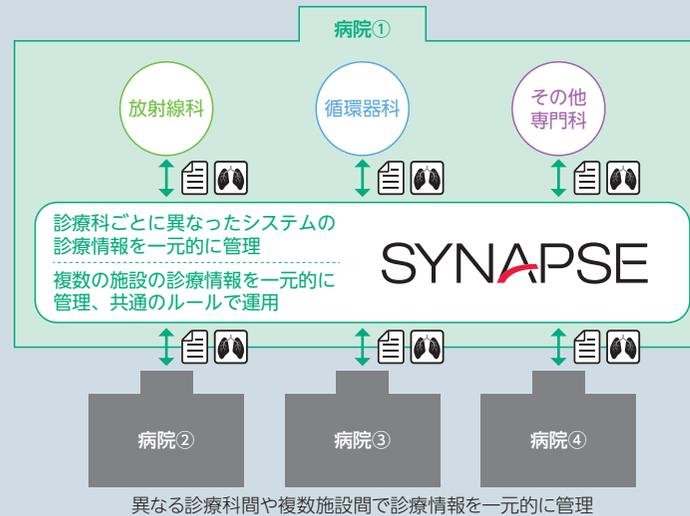


## 医療ITの今後の展開

当社は、長年にわたり培った画像認識・処理技術に加え、医療IT製品の提供により得られた質の高い大量の画像データ、医用画像分野における研究実績、経験や知見などを蓄積してきました。今後、これらの強みにAI（人工知能）技術を組み合わせることで、さらなる診療の効率化、質の向上を目指していきます。具体的には、AI技術の活用により、撮影された検査画像などから疾病の懸念のある変化を抽出したり、過去の症例と照らし合わせて、診断に必要なレポートを半自動で作成するなど、医師の診断サポートや医療現場の効率化に貢献できるソリューションの開発に取り組んでいます。診断に関わる一連の流れをトータルで支援するAI技術及びソリューションの研究開発を進めています。

### 1. 統合アーカイブシステム「SYNAPSE VNA」

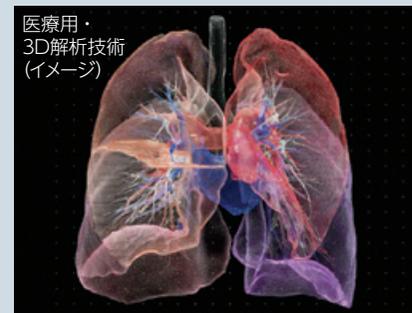
当社の診断機器の画像データだけでなく、他社製の機器で撮影された画像データなどを含めた病院内の診療情報を統合し、各診療科のシステムから参照できるため、複数の診療科の情報を一覧することができます。診療情報を集約して保管できるので、システム更新時のデータ移行に伴う、作業・コスト面の負担を軽減します。また、複数施設の診療情報を共通ルールで一元的に管理できるので、院内の情報共有はもとより、地元クリニック・地域中核病院・高度先進病院といった地域医療の連携にも活用できます。



### 2. 3D画像解析システム「SYNAPSE VINCENT」

当社は、長年蓄積された画像データベースを用いて、CT、MRIなどによる2D(平面)の画像から、高度な3D(立体)画像を描出する3D(立体)解析技術や、時系列で検査画像の変化を表示する技術などを確立。各種臓器や血管

などの高精度な自動抽出を実現しました。医用画像を視覚的に分かりやすく表示し、医師の診断をサポートすることで、疾病の早期発見や手術内容の分かりやすい説明ができるなど、診断の効率化に貢献します。



臓器や血管などを高精度に可視化

**医療ITを中核として  
メディカルシステム事業の  
さらなる成長を目指します。**

# 投資家インフォメーション

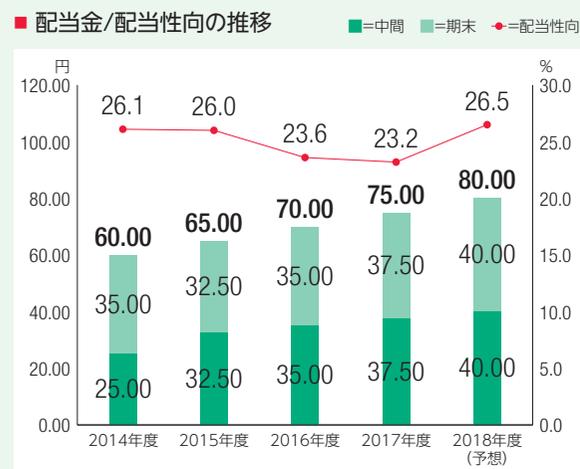
## 第122回定時株主総会の決議結果について

2018年6月28日開催の当社株主総会において報告及び決議された内容につきましては、当社ウェブサイト ([http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir\\_events/shareholders\\_meeting/index.html](http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_events/shareholders_meeting/index.html)) に掲載していますので、ご参照ください。

## 株式データ

株価 4,245円	単元株式数 100株
必要投資金額 424,500円	証券コード 4901
PER 13.16倍	PBR 0.88%

※2018年3月30日終値をもとにしています。



## 会社概要 (2018年3月31日現在)

会社名 富士フイルムホールディングス株式会社  
 設立 1934年1月20日  
 資本金 40,363百万円  
 本社 東京都港区赤坂9丁目7番3号  
 連結従業員数 77,739名

FUJIFILM

## 株主優待のご案内

株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に保有していただくことを目的とした株主優待制度をご案内いたします。

### 7月実施 (基準日:2018年3月31日)

- 単元株(100株)以上保有の株主様
  - ①当社ヘルスケア商品トライアルキットプレゼント(お申し込み制)
  - ②当社ヘルスケア商品優待価格販売(お申し込み制)
- 3年以上500株以上保有の株主様  
**当社ヘルスケア商品プレゼント(お申し込み制)**  
 化粧品コース・サプリメントコースの選択制。



### 12月実施 (基準日:2018年9月30日)

- 単元株(100株)以上保有の株主様  
 当社ヘルスケア商品優待価格販売(お申し込み制)
- 1年以上、単元株(100株)以上保有の株主様  
 当社フォトブック作成用クーポン券(1,000円分)プレゼント
- 3年以上500株以上保有の株主様  
**当社フォトブック作成用  
 クーポン券(4,000円分)プレゼント**



写真はサンプルです。保有年数及び保有株式数により、1,000円分と4,000円分のいずれかのクーポン券(株主優待専用ウェブサイトからのお申し込みに関り使用可能)をお送りします。

\* なお、対象商品やお申し込み期限など、詳細は別途ご案内を差し上げます。  
 \* 1年以上あるいは3年以上保有の株主様とは、基準日現在の株主名簿上で、当初取得日が1年前あるいは3年前の同日以前の方です。

